From 投稿コーナー

＊ワンテーマアンケートの結果を大公開！
日本中が熱狂したリオ・オリンピック！好きな種目をたくさん投稿していただきました。

テーマ

「夏季オリンピック　あなたが好きな種目は？」

期間：2016.6～2016.9

1 水泳

・泳ぐのが好きだから。（CHIKA さん）

2 バスケ

・自分もバスケをやっているし、テレビ（オリンピック）を見ると、べんきょうになるからです。（ナナアさん）

3 バレー・テニス

・私は、４月からバレー部に入っててバレーが好きになりました！！メッチャ楽しいし、大好きです！！（ピーナッツさん）

・僕、テニススクールに通っているんです。はじめてから一年半たつけど、いつかはコートでラケットをバシバシならせるようになりたいからです。不安だけど(笑)（ポテトさん）

◆その他◆
カヌー、ラクビー、アーチェリー、テニス、陸上、体操、サッカー、バドミントン

部活や習い事など自分がやっているからという理由がたくさんありました。オリンピックを見て好きになった子もいたみたいですね。今回もたくさんの投稿ありがとうございました。

おしらせ

―― 第３２回ワンテーマアンケート実施中 ――

今回のテーマは

「お金持ちになったら？」

もしもお金持ちになったら、あなたは何をしてみたいですか？欲しいものを我慢せずに買ってみたい、趣味に使いたい、家族のために使いたい、災害などで困っている人のために寄付をしたい…。思い切ってお金持ちになったらどうするかを妄想しちゃってください！みなさまの投稿をお待ちしています。

編集後記

ティーンズレター第34号はいかがでしたか？次回は春頃にお会いしましょう♪

夏季オリンピックはあっという間に終わってしまった…。今から４年後の東京オリンピックが待ち遠しい♪（にんじん）

食欲の秋がきましたね。でも、毎年右肩上がりに体重が増えている気がする…。食欲は落ちないのに体力が落ちて、運動するのもつらくて…。（ばん）

友達から隕石のかけらとパワーストーンを瓶につめたのを貰いました。なにか良いことが起きるといいな…。（ぺん）

旅先でもらった殻つきのクルミを片手に２つも持ち、手のひらでぐりんぐりん回すのがこの秋のおもちのマイブーム。（果てしなく地味）（おもち）

２０１６年１１月発行

Teens Letter

ティーンズレター VOL.34

習志野市本大久保３-８-19
TEL：047-475-3213

【ＰＣ版】https://www.narashino-lib.jp
【スマートフォン版】https://www.narashino-lib.jp/a
【携帯版】https://www.narashino-lib.jp/m

スマートフォン版 QRコード

携帯版 QRコード

どっくんも時々はたらきます いってきまーす!!

ティーンズコーナー BOOK NAVI

お仕事

今回はお仕事特集☆将来を決める１冊になるかも？

働く主人公

『男子高校生で売れっ子ライトノベル作家をしているけれど、年下のクラスメイトで声優の女の子に首を絞められている。』
時雨沢　恵一／著　KADOKAWA

ライトノベル作家の“僕”は執筆のため１年休学、転入先の学校では年上であることがバレてひとりぼっち…。僕とは真逆に、後ろの席に座る美少女・似鳥絵里はクラスの人気者。なんと彼女は僕の小説が原作のアニメ『ヴァイス・ヴァーサ』の声優出演者だった！僕と似鳥が会話をするのはアフレコに向かう特急列車の中だけ。そんな彼女に僕はいま首を絞められている！？似鳥との会話からライトノベル作家の仕事の流れ、金銭事情から苦労まで、“僕”がわかりやすく解説してくれます。

『神様のカルテ』　夏川　草介／著　小学館

万年医師不足に悩む地方病院で働く医者の栗原一止は、昼は内科医、夜は救急医と、不眠不休で患者の診療に当たる毎日を過ごしていた。あるとき、これまで大学病院勤務を敬遠していた一止のところに、大学病院から誘いが来る。一止の心は、高度医療への志と診療を待つ多くの地方患者との間で揺れ動き…。地方病院と大学病院の違いや病院独特のルールなど、わかりやすく書かれています。主人公と、個性豊かな同僚や患者とのかけあいもあり、心があたたかくなる作品です。（シリーズ既刊他３巻）

『アルジャン・カレール　上・下』
野村　美月／著　KADOKAWA

悲劇を描きたいのに喜劇ばかりやらされる劇作家のオーギュスト。無類の甘い物好きな彼は、ある日小さな菓子屋【パティスリー】を見つける。中へ入ると、そこには様々な美しい菓子と小さな女の子、そして銀髪で無愛想な店主。怪しげな店主に疑いの目を向けるオーギュストだったが、彼の正体は革命の英雄であり女王の菓子職人であるアルジャン・カレールだった。後に“菓聖”と呼ばれることとなる青年の伝説を描く。

『猫の手、貸します』　かたやま　和華／著　集英社

とある事情により猫の姿になってしまった武士の宗太郎。元の姿に戻るには善行を積まなくてはならず、裏長屋で町の雑事を引き受けるよろず請け負い稼業「猫の手屋」を営んでいる。個性豊かな長屋の住人と協力しながら鼠退治、迷子さがし、幽霊供養と様々な依頼を解決し善行を積んでいく。一日でも早く元の姿に戻るため今日も“猫の手”を貸します！

ノンフィクション

『日本の給料＆職業図鑑』　給料ＢＡＮＫ／著　宝島社

昔からみんなの憧れの仕事、最近になって職業として認識されてきた IT 系の仕事など、２７１種の職業が詳しい解説とイラストで紹介されています。しかも平均給料もグラフ付きで載っているので、将来の参考になりますよ。真面目な解説とイラストのギャップがすごいのでページをめくるたびに驚きます。友達と一緒にツッコミを入れながら見るとより楽しめてオススメ♪

『俺たちに不可能はない！』
ドリームファクトリー研究会／編　中経出版

ピラミッドや出雲大社などの過去の建築物を現代の技術で建設しようと思ったら、どのくらいの費用と期間がかかる？宇宙エレベーター、マジンガーZ の格納庫など、夢のような建築物を今ある技術を使って作るとしたらどうなるの？日本の大手建設メーカーが、「夢」を胸に真剣に挑んでいます。過去から未来にかけてのビッグプロジェクト全 18 例を紹介！未来への夢がぎっしり詰まった一冊です。

『キャラクターデザインの仕事』
たかい よしかず／著　大日本図書

みなさん、この表紙のキャラクターに見覚えはありませんか？彼らを生み出したデザイナーたかいよしかずさんの仕事や生き方が４コママンガやかわいいイラスト満載で描かれています。作家自身の言葉で綴られていく共感しやすいエピソードが多く書かれていて、仕事に対する姿勢と生き方が伝わってきます。イラストやマンガ、デザインに興味のある人はもちろん、将来どんな仕事に就くのかなど、心配ごとのある人にもオススメです。

my favorite◆ Talk 18

図書館スタッフが10代だったころ…①

あれはぴちぴちの中学生だったころ…（遠い目）。図書室が発行していた読書案内で感想文にオススメの本が何冊か紹介されていました。その中のひとつが乙一著『きみにしか聞こえない』。あらすじで興味が沸き、読んでみたらどハマり。そこから乙一の作品を次々に買ってもらい、通学中や休み時間にひたすら読む日々。小説をここまで夢中になって読むのは初めての体験でした。乙一は恋愛小説は中田永一、怪談小説は山白朝子など、ジャンルでペンネームを使い分けて執筆したりもしています。今年出版された『メアリー・スーを殺して』も裏切らぬおもしろさだった…。乙一が作る暗く切ない世界をぜひ☆

（おもちち）

「メアリー・スーを殺して」
朝日新聞出版

「きみにしか聞こえない」
角川書店